

2021 年 4 月 1 日

2020 年 7 月から 2024 年 1 月までに
両立支援介入を自ら希望して実際に両立支援を受け、
意見書発行時にストレスマネジメント・ガイドブックを配布された
患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（西暦 2014 年 12 月 22 日制定 西暦 2017 年 2 月 28 日一部改正）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名 ストレスマネジメント・ガイドブックの活用状況の実態調査
2. 研究期間 2021 年 4 月～2024 年 3 月
3. 研究機関 産業医科大学病院 就学・就労支援センター
4. 実施責任者 就学・就労支援センター 看護部 両立支援コーディネーター 看護師
細田悦子

5. 研究の目的と意義

心身の不調を抱える方は、その治療と職業生活の両立に困難を感じる方が少なくありません。この両立を可能にするためには、治療を行いながら仕事に従事する方が高ストレス状態に気づき、ストレスマネジメントをすることが重要となります。

そこで本研究では、高ストレス状態に気づき、自身で現在の状態のチェックやストレスマネジメントを行うことを手助けする「両立支援ストレスマネジメント・ガイドブック」を用いたことにより、両立支援を必要とされている方に効果は見られたのか、情報が役に立ったか、などを伺います。

6. 研究の方法

15 分程度のアンケート調査を実施します。回答していただいたデータの分析を行います。アンケートの質問内容は①基本的な情報、②ストレスマネジメントに関するリテラシー、③ストレスマネジメントの自己効力感、④両立支援ストレスマネジメント・ガイドブックに対する評価、⑤仕事のパフォーマンス、脳疲労の状態、⑥（就業中の方のみ対象）

就労状況、困難な勤務の6つのことに関する回答を集めます。

7. 個人情報の取り扱い

個人を特定できる情報はID匿名化を行い、個人が特定できない状態でデータを保持します。データは本研究の目的以外に用いられることはなく、パスワードで保護された記録媒体で保存します。また、紙媒体のデータはファイリングされ、デジタルデータとともに産業医科大学の施錠できる部屋で管理されます。データは5年間保存されたのち、再生できない形で破棄します。

本研究は既存の情報を利用するため、対象者からのインフォームド・コンセントは必ずしも必要ではありませんが、研究参加の拒否は自由です。研究への参加にご同意いただけない患者さんは下記問い合わせ先にご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。

8. 問い合わせ先

産業医科大学病院 看護部 細田悦子 TEL 093-603-1611(内線 7788)

9. その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。